

景気動向指数
平成 22 年 2 月分（速報）の概要

2月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：97.9、一致指数：100.7、遅行指数：85.4となった。（注）

先行指数は、前月と比較して1.0ポイント上昇し、12ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は2.20ポイント上昇し、11ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は2.12ポイント上昇し、8ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.4ポイント上昇し、11ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は1.56ポイント上昇し、10ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は1.56ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.5ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は1.17ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.54ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

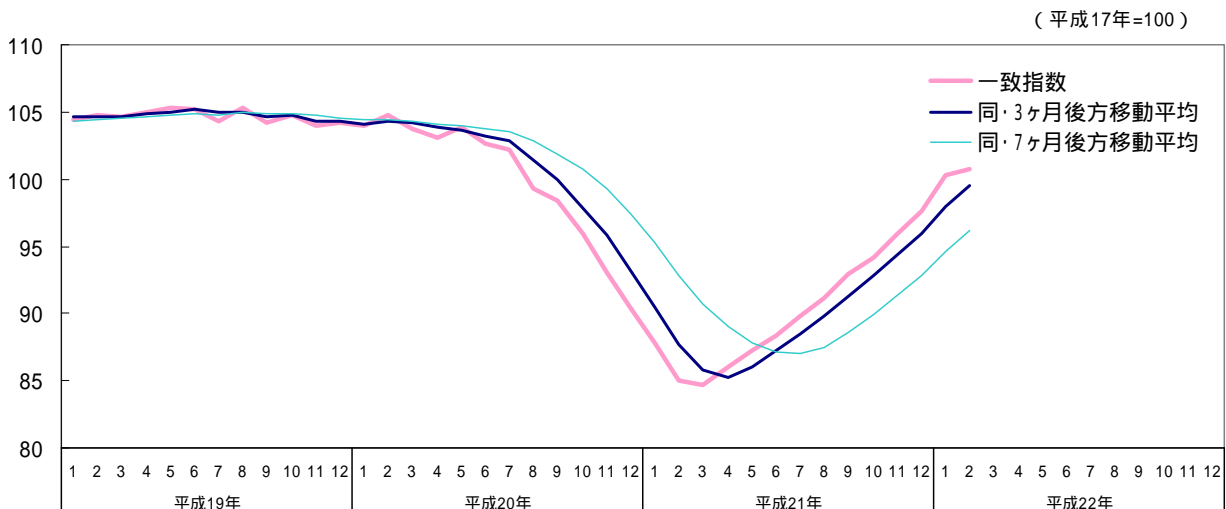
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.37	C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.23
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.23	C3：大口電力使用量	-0.14
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.17	C10：中小企業売上高(製造業)	-0.14
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.16	C1：生産指数(鉱工業)	-0.12
C5：所定外労働時間指数(製造業)	0.09		
C4：稼働率指数(製造業)	0.01		
C9：営業利益(全産業)	0.01		

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では未公表であるため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。